

地域の まちづくり入門



財団法人

名古屋都市センター

まちづくりのはじめは、ひとりから。

ワンワンくんは、さいきん、じぶんが住んでいるまちについて気になります。



ワンワンくん

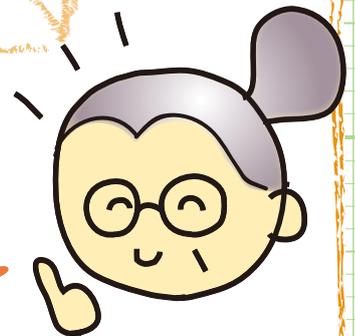
歴史的な建物やまちなみがなくなっていくなあ。

災害のときみんな助け合えるといいのになあ。

花や緑がへってきたなあ。

でも..

こんな、ひとりひとりの思い立ちがきっかけとなり
まちづくりの第一歩がはじまるのよ。



まちづくり知恵袋 物知りおばあちゃん

でもじつは、ワンワンくんは以前、こんな失敗をしていました。



お花や緑にあふれたまちって素敵だね？
この場所に、みんなで花や樹木をいっぱい植えて育てようよ！

緑がいっぱいと、
虫がわくニャー。

消毒も体に悪そうだし…。
コンコン

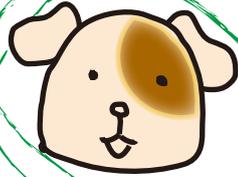
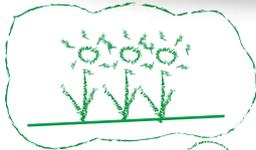
草むしりや剪定が
大変そうだぜ。
僕は忙しいから参加したくないぜ。



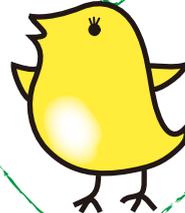
まちづくりはみんなですすめよう。

そこでワンワンくんは、気どころ知れた近所のみんなに思いを話してみました。

ぼくは、まちにお花や緑がいっぱいほしいな。



そうね、
わたしは安心して遊べる公園がほしいわ。



ヒヨ美ちゃん

ウサ子はずっとにぎやかな
まちにしたいピョン。



ウサ子ちゃん

そうじゃな—
歴史的なまちなみを残すのじゃ。



カメじい

じゃあ、みんなでこの地域のまちづくりを
考えてみようか！



ハムにい



まちづくりは、ひとりだけではできないわ。
まずは、気心の知れたご近所さんに”こんなまちにしたい”気持ちを話し、
目標を共有できる人を探しましょう。
そして人の輪を広げていくには、日頃から地域でコミュニケーションを
とることが、**とっても大事なのよ。**

どんなまちにしたいか、話し合おう！

ワンワンくんたちは、まちづくりについて学ぶことにしました。

このまちのことをもっと知るために、市役所や区役所などで話を聞いてみようピョ！

実際にまちを歩いてみたいわね。

他のまちの事も知りたいピョン。

まちづくりの専門家にアドバイスをもらうのもよいのう。

みんなで話し合ったことを、もっと多くの地域の人に知ってもらうために、ニュースを発行しようよ。

他のまちで行っているまちづくりには、ヒントがいっぱい！

町内会の会長さんにも、みんなの思いを知ってもらおうよ。

子どもや高齢者など、いろいろな人の意見を聞くためにイベントや、ワークショップ（※）をやるのじゃよ！

※ワークショップとは…みんなで互いに意見を出し合い、目標を決めたり、具体的な話し合いをする場です。

仲間で共有できた思いも、他の人たちは快く思っていないかもしれないのでPRは大事よ。

子どもの参加は、大人になっても自分のまちに愛着をもってもらうためにとっても大事なことよ。

子どもと一緒に親も参加すれば、家族ぐるみで参加できるし、多世代交流の場となって地域の輪が広がるわ。

ワンワンくんたちは、'このまちをどんなまちにしたいのか？'を話し合いました。

みんなの考えは十人十色で、思いは違うでしょうが急ぐことはありませんよ。共有できたことから、一步一步すすめていきましょう。

ゆっくりでも、しっかりすすめていくことが大切よ。

夢に描いたのは、どんなまち？

ワンワンくんたちは、どんなまちを目指すことになったのでしょうか。

花や緑がいっぱいで心地いいまちに！

まちなみが揃っていて歩くのが楽しいまちに！

災害のときみんな助け合えるまちに！

歴史的な建物を保存して次世代に残そう！

ご近所さんが気軽に集える場所をつくろう！

公園が子どもやお年寄りにとって使いやすい楽しいまちに！

地域みんなで集まって、イベントをやりよう！

どうしたら実現できるかな？

住民が主体となって実現しよう！

- 地域の計画づくり
- 地域のコミュニティ力の向上
- 地域の魅力発見・継承
- 安心安全マップづくり
- 地域の助け合い
- 緑化活動
- など

行政と連携して実現しよう！

- 法律に基づいたまちのルールづくり(P.6参照)
- 区画整理、再開発などの事業

目指すまちの夢が描いたら、次はそれを実現するための計画づくりをしましょう。なかには、じぶんたちでは実現できないものがあるわ。行政主体でないとできないもの、行政や企業などの協力がなくてできないもの。何より一番大切なのは、「じぶんたちのまちは、じぶんたちのちからで、じぶんたちでそだてる」ことよ。その気持ちが身近なまわりの住民を動かし、行政を動かし、快適で活力あるまちづくりにつながっていくのよ。頑張りましょうね！



まちづくりの流れ

1. まちづくりのはじめは、ひとりから

まちづくりのはじめは、「こんなまちになったらいいなあ」というひとりの思いです。

ひとりひとりの思い立ちがきっかけとなり、まちづくりの第一歩が始まります。

まちづくりの発意

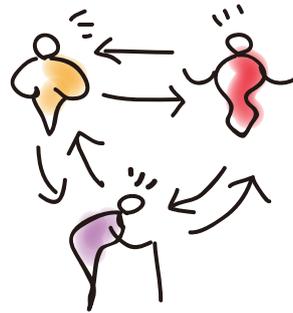


2. まちづくりはみんなですすめよう

「こんなまちにしたい」という思いを、じぶんの周りの人やまちの人に投げかけてみましょう。そうすることで、ひょっとしたら自分と同じような思いを持っている人が見つかるかも知れません。

まずは、同じようにまちのことを考える人を見つけ、輪をひろげましょう。

仲間づくり・組織づくり



専門家からのアドバイス



株式会社 連空間設計
代表取締役
今村敏雄

まちづくりとは「現在まち（地域）に住み、働き、憩う住民と、未来の住民のため、よりよい環境を築き上げようとする市民活動」です。この「まちづくりの目的」に反対する人はいませんが、その方法論で、ときに人の利害は対立することがあります。日頃から地元でコミュニケーションをとり、どんなまちづくりをしていくのか、みんなで話しあうことが大切です。

3. どんなまちにしたいか、話し合おう!

まずは、まち歩きをしたり、勉強会を開いたり、まちづくりについて学ぶことから始めましょう。先進地を見に行くのもよいでしょう。

その上で、まちの魅力や課題について意見を出し合い、話し合いをしましょう。そして、みんなでどんなまちにしたいのか、夢を語り合しましょう。

みんなの考えは、十人十色ですが、ゆっくりでも意見をまとめていきましょう。

まちづくりの学習



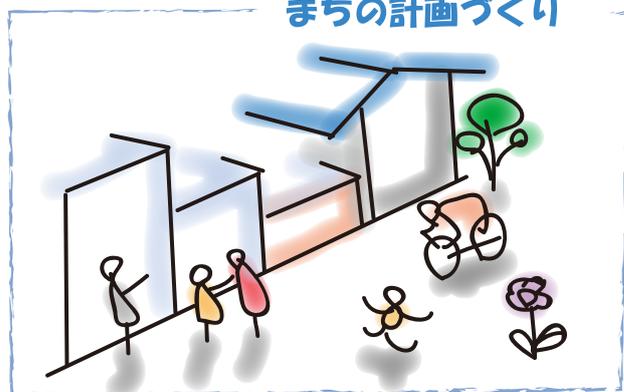
4. 夢に描いたのは、どんなまち?

目指すまちの夢が描けたら、次はそれを実現するための計画づくりをしましょう。

それをもとに、まちに関わる人（地域住民や行政など）と協力して、まちづくりを進めていきましょう。

じぶんたちのまちは、じぶんたちのちからで、じぶんたちでそだてることが大切です。

まちの計画づくり



まちづくりに関する知識

● 法律に基づいたまちのルールづくり ●	
地区計画	地区内の道路や公園の配置、建築物の用途や大きさなど、まちの特性に応じたきめ細かなルールを都市計画として決めることができる制度です。
建築協定	建築物の用途や大きさなど、まちの特性に応じた建築に関するルールをじぶんたちで決める制度です。
景観協定	建築物、緑に加え、工作物や青空駐車場、看板など景観上のルールをじぶんたちで決める制度です。
緑地協定	緑地の保全や緑化に関するルールをじぶんたちで決める制度です。
● 名古屋都市センターのまちづくり支援制度 ●	
まちづくり活動助成 （“はじめの一歩”助成）	市民の皆様などからの寄附を積み立てた「まちづくり基金」の運用益により、まちづくり活動団体の活動経費の一部を助成します。
地域のまちづくりびと養成講座	地域で実際にまちづくり活動に取り組む“まちづくりびと”を育てるための講座を行っています。



お問い合わせ

財団法人 名古屋都市センター

調査課 まちづくり支援担当

〒460-0023 名古屋市中区金山町一丁目1番1号 金山南ビル内

電話 052-678-2214 (直通) FAX 052-678-2211

ホームページURL <http://www.nui.or.jp>

デザイン・レイアウト： プラス 十まちづくり

(「十まちづくり」は名古屋都市センター主催の「まちづく
りびと 養成講座」(修了生)から生まれた団体です。)

平成19年3月発行

この印刷物は再生紙(古紙配合率100%・白色度80%以上)を使用しています。